

平成25年度 生活介護B班の取り組み

生活介護B班

藤田 寿子

ウォーキング

B班の利用者は、意識的に身体を動かす場面を設定しないと運動量が非常に少ないため、毎日午前中は体力作りの的なプログラムを多くしている。

- 渡り廊下ウォーキング
職員が少人数でも対応できるようにする。
自分の意思で歩くことを目標にする。
- 芝生広場ウォーキング
- 周回コースウォーキング
- 園外ウォーキング

渡り廊下ウォーキング



みどり園の渡り廊下は100m。職員不足には役立つ代物。

ボールを使って

- 全員で歩く合計回数のボールをかごに入れ、渡り廊下の南棟前にセットする。**目標設定**
(B班の能力で個別は無理)
- 本館前には入れ物をセットする。
- 職員は両端と中央にスタンバイ。
(3人で実施できることを目指して) **少人数で対応**
それぞれのスピードで歩き、ボールを運ぶ。
自分の意思で歩く
- ボールが無くなれば終了。**目に見える目標**

目標個数を決めました。



ボールが無くなれば終了です。



芝生ウォーキング

- 転倒しやすいKさんは渡り廊下は危険です。
- いつも職員が横に居ると職員に頼りがちです。
- 自分の力で歩いて欲しい。
- 自分で気をつけて歩こうとする意識を育てたい。
- 目標があると黙々と頑張るKさんはすごい。





ことばゲームの取り組み

ことばゲーム

- 言葉をどのくらい理解しているのか・・・試してみよう。
- 施設暮らしは言葉が不要？語彙を増やそう。
- 経験を積み重ねよう。
- 楽しく参加しよう。
- 使っていない能力を引き出そう。
- 言葉の力を知って欲しい。

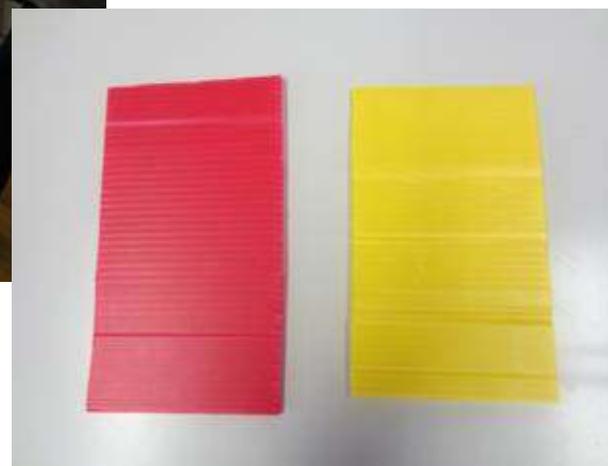
○発語のある人のグループの例

- 5人のグループ。
- 和室を利用。
- 週1回実施。
- 真ん中に実物を置き、実物カルタに挑戦。
やかん、コップ、マジック、靴下、花瓶など
- 次は実物を見せて言葉で答える練習。
1ヶ月繰り返すと正確に覚える。



経験の大切さ

「赤上げて、黄色上げて」



「ゴミを捨ててきてください。」



丸めた紙を渡すと、自分の口元を拭いて、ゴミ箱に捨てに行きました。

「ちりとりとモップをとってください。」



ゴミは手で
ちりといに
入れました。

「藤本さんを連れてきてください。」

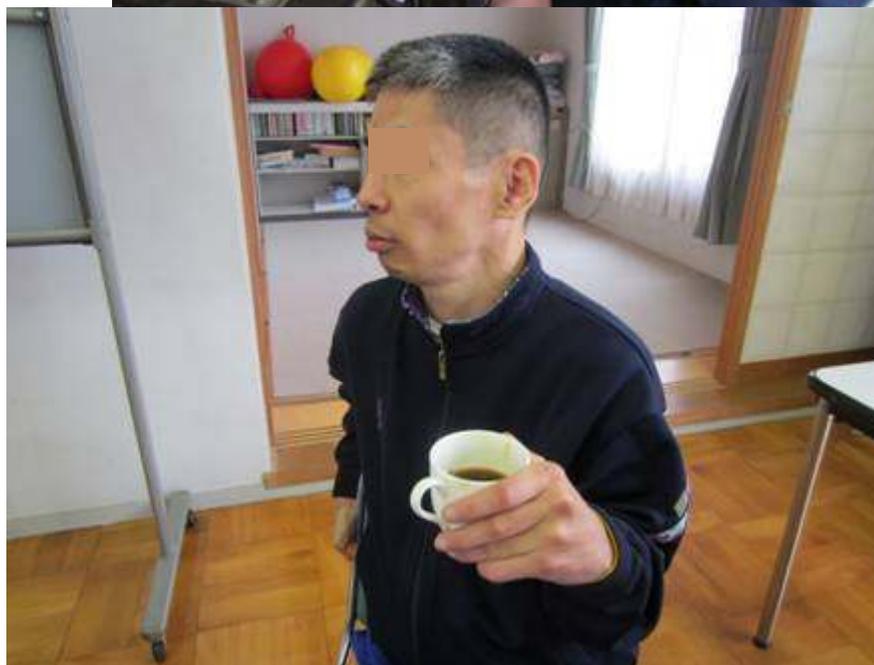


「来て」と言ってから手をつないで連れてきました。
職員のほうが少し積極的過ぎました。

「好きなものを選んでください。」



迷わずコーヒーを選び、
スプーンとコップも取りました。
言葉が無く、「お湯を入れて」とどうやって伝えると良いでしょうか。



「帽子を被ってください。」



**帽子といわれて手袋を選びました。
散歩に行くときには自分で帽子を
被ります。**

○まとめ

職員の姿勢

- 職員がしっかりことばを発することの大切さ。
- 良く気がつくことが利用者の能力を眠らせてしまうことがある。
- 職員が目的を持って接することの必要性。
- 豊かな人生を目標に日々工夫すること。

豊かな人生とは？

- 楽しくいろいろなことを経験すること。
- 自分の能力を最大限に発揮すること。
- 目標を持って頑張ること。
- 健康で元気な毎日を送れること。

生活介護班のプログラム

○楽しく、人生を豊かにするプログラム

→ 季節の行事、カラオケ、買い物、創作活動など

○生活に役立つ技能を開発するプログラム

→ 作業、ことばゲーム、生活支援

○情緒安定のためのプログラム

→ 音楽活動

○健康に生きるためのプログラム

→ ウォーキング、体操教室、食事など